

<注意事項>

- ・ 解答を出すために必要な式等は、すべて記載すること。
 - ・ 解答欄が足りない場合は、裏に続きを記入してもよい。
- ただし、表面の解答欄に「裏面に続く」と明記すること。

受験 番号	
----------	--

1 $x = \frac{\sqrt{3} + \sqrt{5}}{\sqrt{3} - \sqrt{5}}, y = \frac{\sqrt{3} - \sqrt{5}}{\sqrt{3} + \sqrt{5}}$ のとき、次の値を求めなさい。

(1) $x + y$

$$\begin{aligned} x + y &= \frac{\sqrt{3} + \sqrt{5}}{\sqrt{3} - \sqrt{5}} + \frac{\sqrt{3} - \sqrt{5}}{\sqrt{3} + \sqrt{5}} \\ &= \frac{(\sqrt{3} + \sqrt{5})^2 + (\sqrt{3} - \sqrt{5})^2}{(\sqrt{3} - \sqrt{5})(\sqrt{3} + \sqrt{5})} \\ &= -8 \end{aligned}$$

(2) $x^2y + xy^2 + 3xy$

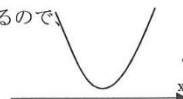
$$\begin{aligned} x^2y + xy^2 + 3xy &= xy(x + y + 3) \\ xy &= \frac{\sqrt{3} + \sqrt{5}}{\sqrt{3} - \sqrt{5}} \cdot \frac{\sqrt{3} - \sqrt{5}}{\sqrt{3} + \sqrt{5}} = 1 \\ \text{また、(1) より } x + y &= -8 \text{ なので} \\ xy(x + y + 3) &= 1(-8 + 3) \\ &= -5 \end{aligned}$$

2 すべての実数 x に対して、不等式 $ax^2 + (2a - 1)x + 3a - 3 > 0$ が成り立つような定数 a の値の範囲を求めなさい。

$f(x) = ax^2 + (2a - 1)x + 3a - 3$ とおく。
 $y = f(x)$ のグラフが x 軸よりも常に上側にあるような条件を求めればよい。

(i) $a = 0$ の場合、 $f(x) = -x - 3$ となり、
一次関数になるので、条件は成立しない。

(ii) $a \neq 0$ の場合、
 $a > 0$ のとき $y = f(x)$ のグラフは下に凸となり
 $a < 0$ のとき $y = f(x)$ のグラフは上に凸となるので、
右図のようになるための条件は $a > 0 \cdots \textcircled{1}$
また、判別式を D とすると $D < 0$ である

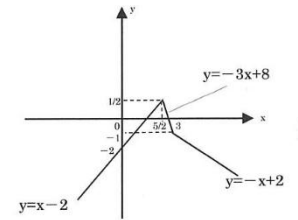


$$\begin{aligned} D &= (2a - 1)^2 - 4a(3a - 3) < 0 \\ 4a^2 - 4a + 1 - 12a^2 + 12a &< 0 \\ -8a^2 + 8a + 1 &< 0 \\ 8a^2 - 8a - 1 &> 0 \\ 8a^2 - 8a - 1 &= 0 \text{ とおく} \\ a &= \frac{-(-8) \pm \sqrt{(-8)^2 - 4 \cdot 8 \cdot (-1)}}{2 \cdot 8} \\ &= \frac{1}{4}(2 \pm \sqrt{6}) \\ \text{よって、} a &< \frac{1}{4}(2 - \sqrt{6}), a > \frac{1}{4}(2 + \sqrt{6}) \cdots \textcircled{2} \\ \textcircled{1}\textcircled{2} \text{ より、} a &> \frac{1}{4}(2 + \sqrt{6}) \end{aligned}$$

3 次の各問いに答えなさい。

(1) $y = |x - 3| - |2x - 5|$ のグラフを描きなさい。

- (i) $x \geq 3$ のとき $y = x - 3 - (2x - 5)$ よって $y = -x + 2$
(ii) $\frac{5}{2} \leq x < 3$ のとき $y = -(x - 3) - (2x - 5)$ よって $y = -3x + 8$
(iii) $x < \frac{5}{2}$ のとき $y = -(x - 3) - \{-(2x - 5)\}$ よって $y = x - 2$
- ゆえに、グラフは右図のようになる。



(2) 方程式 $|x - 3| - |2x - 5| = -2$ を解きなさい。

- (i) $x \geq 3$ のとき、 $x - 3 - (2x - 5) = -2$
これを解くと $x = 4$
(ii) $\frac{5}{2} \leq x < 3$ のとき、 $-(x - 3) - (2x - 5) = -2$
これを解くと $x = \frac{10}{3}$ $\frac{5}{2} \leq x < 3$ なので解なし
(iii) $x < \frac{5}{2}$ のとき、 $-(x - 3) - \{-(2x - 5)\} = -2$
これを解くと $x = 0$ 以上から、求める解は $x = 0, 4$

※(1) で描いたグラフと $y = -2$ との交点を求めても OK

4 関数 $y = -\sin^2 \theta + 2 \cos \theta - \frac{1}{2}$ $\cdots \textcircled{1}$ について、次の各問いに答えなさい。ただし、 $0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$ とする。

(1) $\cos \theta = t$ とおくと、関数 $\textcircled{1}$ を t を用いて表しなさい。

$$\begin{aligned} y &= -\sin^2 \theta + 2 \cos \theta - \frac{1}{2} \\ &= -(1 - \cos^2 \theta) + 2 \cos \theta - \frac{1}{2} \\ &= \cos^2 \theta + 2 \cos \theta - \frac{3}{2} \end{aligned}$$

$\cos \theta = t$ とおくと
 $y = t^2 + 2t - \frac{3}{2}$

(2) 関数 $\textcircled{1}$ の最大値と最小値を求めなさい。また、そのときの θ の値を求めなさい。

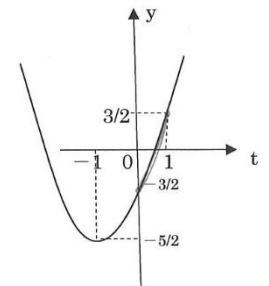
(1) より
 $y = t^2 + 2t - \frac{3}{2}$
 $= (t + 1)^2 - \frac{5}{2}$

グラフは右図のようになる。

また、 $0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$ より $0 \leq t \leq 1$ であるので

$t = 1$ のとき、最大値 $\frac{3}{2}$ 、またこのときの θ の値は $\cos \theta = 1$ より $\theta = 0^\circ$

$t = 0$ のとき、最小値 $-\frac{3}{2}$ 、またこのときの θ の値は $\cos \theta = 0$ より $\theta = 90^\circ$



【出題意図】

- ・ ㊦について

整式の整理についての理解を問う

- ・ ㊧について

判別式についての理解を問う

- ・ ㊨について

絶対値についての理解を問う

- ・ ㊩について

三角関数についての理解を問う